

# 「在宅看取りを考える」多職種交流会からみえた課題とできること

※グループワークでの参加者の声をまとめています

R5年12月

長浜米原地域医療支援センター

在宅看取りに関する困りごと・課題の整理	支援者ができること
<b>【利用者のごこと(環境含む)】</b>	
☆利用者本人	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が病態や予後を知らない</li> <li>・本人の意向が把握できていない</li> <li>・本人が最後の医療とケアを考えていない</li> <li>・家族とのつながりがない 関係性の問題 介護者の不在、老々介護 身寄りがない 独居</li> <li>・サービスの導入を承諾してもらえない</li> <li>・症状コントロールがうまくいかない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォームドコンセントをしっかりと行う</li> <li>・起こりうること、予後などの病状説明</li> <li>・元気なうち(安定期)からの人生会議、意向を確認</li> <li>・エンディングノート、暮らし方ノートの活用</li> <li>・もしバナゲームなど啓発資材の活用、住民へのACP啓発</li> <li>・代理決定者の確認と家族内の会話の促進</li> <li>・生活状況の確認、共有</li> <li>・介護力のアセスメント</li> <li>・安心できる環境を整える</li> <li>・どう過ごしたいかに合わせたサービスをアピール</li> <li>・医療者の緩和技術の向上</li> </ul>
☆家族	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人と家族の意向のずれ</li> <li>・家族間での意見のくいちがい</li> <li>・家族が看取りに関する知識がない、覚悟がない、イメージできない 経過を理解できない</li> <li>・本人が在宅を望んでも家族の不安や負担が大きい</li> <li>・在宅看取りの方向でも救急車をよんだり、病院や施設への選択となる</li> <li>・家族の気持ちのゆらぎ</li> <li>・家族の介護力、協力体制が整わない</li> <li>・医療依存度が高いと心理的なハードルが上がる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平時からのチーム内のつながりを強化</li> <li>・チーム内で情報交換、共有、ずれの調整</li> <li>・おこりうることやできることの説明(リーフレットの活用)</li> <li>・どこまで理解できているか確認</li> <li>・連絡先、バックアップ体制を整える</li> <li>・気持ちの変化を受け止める体制、不安に寄り添う姿勢</li> <li>・なるべくシンプルなケアへの検討</li> </ul>
☆かかりつけ医	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医がない</li> <li>・かかりつけ医が往診できない</li> <li>・訪問診療や在宅看取りできる医師の減少</li> <li>・家族が在宅医をつけることを拒否</li> <li>・医療機器・材料の準備の手間</li> <li>・疼痛緩和、麻薬処方されない医院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・W主治医(病院医・在宅医)の役割を情報提供</li> <li>・ふだんから、かかりつけ医をもつことの推奨</li> <li>・代診システムに期待。地域のモデルチームが増えることをめざす</li> <li>・早期からの関係性を築く</li> <li>・診療所と相談しやすい体制</li> </ul>
☆生活環境	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・急なADL低下の場合の介護サービス調整の不在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険申請のタイミング、連携</li> </ul>

<b>【支援者の看取りの知識やスキルに関すること】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援者が具体的な変化をイメージできていない</li> <li>・ 医師が症状緩和の方法に悩まれる</li> <li>・ 病院と在宅でできる医療がちがうことの認識ができていない。</li> <li>・ 病院医療者が在宅看取りを知らない</li> <li>・ 本人・家族へのコミュニケーションの難しさ</li> <li>・ 本人の思いを聴くことの難しさ</li> <li>・ 家族への声かけ</li> <li>・ 家族の不安が強い</li> <li>・ 金銭面へのフォロー</li> <li>・ 死後の手続きの知識不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看取りの学習会への参加</li> <li>・ 看取りのリーフレットの活用</li> <li>・ 緩和ケア研修への参加</li> <li>・ 病院と在宅医療のちがいを理解</li> <li>・ 在宅医療の知識を職種を問わずに深める</li> <li>・ 事例検討会への参加</li> <li>・ 成功体験の共有</li> <li>・ 本人、家族の意向に沿う対応力、コミュニケーション</li> <li>・ チーム内で知識の差を理解したうえでのコミュニケーション</li> </ul>
<b>【多職種連携（コミュニケーション含む）】</b>	
<b>☆情報共有に関すること</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共有のタイミングが難しい。</li> <li>・ 共有する場がない</li> <li>・ タイムリーに情報共有できないことがある</li> <li>・ チームの中で突っ走る人や置いてけぼりになる人がいる</li> <li>・ どこまで伝えたらいいのかわからない</li> <li>・ 意見をまとめる人が複数いるとまとまりにくい</li> <li>・ 地域での看看連携の確立ができていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ びわ湖あさがおネットなどの利用の推進</li> <li>・ グループライン的な共有方法</li> <li>・ 在宅チームでのカンファレンスの開催、伝達方法</li> <li>・ チーム内で知識の差を理解したうえでのコミュニケーション</li> </ul>
<b>☆ケアマネジャーとしての立ち位置</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療に関して、主治医と訪問看護師と話が決まってしまう</li> <li>・ CM 看護師に任せがちになる</li> <li>・ 医療者の役割が大きく、ケアマネができることで困惑がある。</li> <li>・ ケアマネになって看取りの経験がなく、何をするのかかわからな</li> <li>・ がん患者の場合、変化が大きく大変</li> <li>・ 訪問時のタイミングに戸惑う</li> <li>・ どのように生きたいか、聞くタイミングに悩む</li> <li>・ 薬剤師も退院カンファレンスやサービス会議に呼んでほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケアマネジャーの役割も大きい。それぞれの立場、役割を理解する</li> <li>・ 多職種研修への参加</li> </ul>
<b>☆医師との連携</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師と話すときにドキドキする</li> <li>・ 病院のDrとコミュニケーションがとりにくい。相談しにくい</li> <li>・ かかりつけ医のできるところ、できないところがある</li> <li>・ いつ電話したらいいか迷う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来、訪問診療、往診への同席の機会をもつ</li> <li>・ 看取りの方向性を決定、共有しておく</li> <li>・ IC後の確認作業と医師へのフィードバック</li> </ul>
<b>☆意思決定支援</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人の意思決定の共有がタイムリーに難しい</li> <li>・ 聞き出せない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ACPの学習会、多職種研修への参加</li> </ul>
<b>☆入退院支援に関すること</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 急な退院となることがある</li> <li>・ 退院時に今後の課題や予測される変化を伝えてほしい</li> <li>・ 病院側が交流の場について知る機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院側に連携について、在宅側から伝えていく</li> <li>・ 看取りのリーフレットの活用</li> <li>・ 退院前カンファレンスへの参加</li> <li>・ 多職種研修への参加、研修の発信</li> </ul>